

R3年度 当院におけるメンタルケアの現状

近年、精神的不安を抱えておられる方や、投薬治療を必要とされる方が増えております。これらの方々には、妊娠、出産、育児にあたり、よりきめ細かい、継続した支援や関わりが必要です。当院では、妊娠中から産後にわたり質問表（エジンバラ産後うつ質問票：EPDS、赤ちゃんへの気持ち質問票、育児支援チェックリスト）の活用し、きめ細やかな聞き取り、受持ち制の導入、臨床心理士によるカウンセリング、地域保健師との連携を行っております。

1.妊娠初期（EPDS・育児支援チェック）

355名にテストを行い、21名（5.9%）が基準を上回る結果でした。

これらの多くは、悪阻症状によるものが多く、悪阻の軽快により不安は解消されました。悪阻以外に原因が考えられる場合には、テストを再度行い受け持ちスタッフが担当しより多くの機会にご相談いただけるようにしております。ご希望により、臨床心理士による心理カウンセリングを実施しております。（予約制）

2021年、受け持ちスタッフが対応した患者様は74名（20.8%）そのうち心理カウンセリングを行った患者様は9名（2.3%）でした。

2.産後2週間健診、1か月健診（EPDS、赤ちゃんへの気持ち質問票、育児支援チェックリスト）

355名にテストを行い、産後2週間健診では34名（9.6%）、産後1か月健診では

28名（7.9%）の方が基準を上回る結果でした。出産された385名の方で、地域の保健師と連携をとり、支援を必要とされた方は48名（12%）おられました。

これからも細やかなメンタルケアを通して、皆様の安全・安心な出産、育児支援を行ってまいります。

皆様のご協力をお願い申し上げます。

